



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

J R 東日本労働組合
発責 教育・広報部
2020年10月19日 No.247

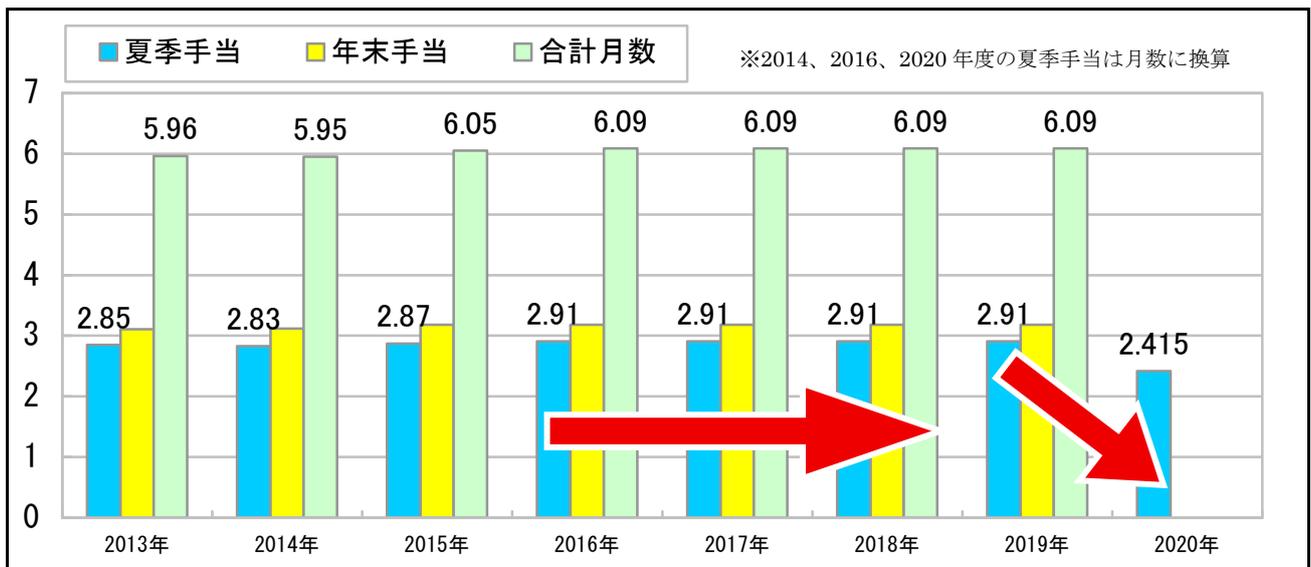
2020年度 年末手当について考えよう ②

この間の期末手当交渉で経営側は何と言ってきたのか!?

「期末手当が月の補填になっているという位置付けは認識している」
「安定的な支給という観点も判断する上で必要であると考えている」
「安定的な支給で社員の生活の安定につながるということも踏まえ判断」
「業績連動みたいなデジタルに会社業績が支給額に連動するような制度を当社は採っていない」

↓ 私たちは覚えています!

安定支給は社員の生活の安定のため・・・



8期連続の増収増益のなか支払い体力はあるとしつつも
期末手当は安定的に支給

その結果・・・毎年、最終利益から配当等を除いた額を
「利益剰余金(内部留保)」として蓄積
その額は単体で「2兆912億円」(2020年度第1四半期末)

今こそ東日本ユニオンに加入し、堂々と声をあげよう!

「コロナ禍でも職場で奮闘し社会的使命を果たしてきたのに!」
「夏のボーナスの下げ幅には落胆した!あれが安定供給なのか?」

(東日本ユニオンメールに寄せられた声)